

2017年3月期第3四半期決算の概要

東レ株式会社
2017年2月9日

目次

I . 2017年3月期第3四半期決算の概要

2017年3月期第3四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)	(P17)
主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)	(P18)

II . 2017年3月期連結業績見通し

2017年3月期連結業績見通し	(P20)
セグメント別業績見通し	(P21)
セグメント別営業利益の前回見通しとの差異	(P22)

I . 2017年3月期第3四半期決算の概要

2017年3月期第3四半期連結損益概要

	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上高	5,517	5,352	-165 (-3.0%)	15,803	14,922	-881 (-5.6%)
売上原価	4,381	4,276	-105 (-2.4%)	12,493	11,713	-779 (-6.2%)
売上総利益	1,136	1,076	-61 (-5.3%)	3,310	3,208	-102 (-3.1%)
(売上高総利益率)	20.6%	20.1%	-0.5 ポイント	20.9%	21.5%	+0.6 ポイント
販売費及び 一般管理費	707	697	-10 (-1.4%)	2,129	2,066	-63 (-2.9%)
(売上高販管費比率)	12.8%	13.0%	+0.2 ポイント	13.5%	13.8%	+0.4 ポイント
営業利益	430	379	-51 (-11.8%)	1,181	1,142	-39 (-3.3%)
(売上高営業利益率)	7.8%	7.1%	-0.7 ポイント	7.5%	7.7%	+0.2 ポイント
営業外収支	▲7	15	+22	▲4	13	+17
経常利益	423	394	-28 (-6.7%)	1,177	1,155	-23 (-1.9%)
特別損益	0	▲26	-26	▲28	▲39	-11
税前利益	423	368	-55 (-13.0%)	1,149	1,116	-33 (-2.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	267	235	-33 (-12.2%)	762	769	+7 (+0.9%)

億円

		(16/3 3Q)	→	(17/3 3Q)	(16/3 3Q累計)	→	(17/3 3Q累計)
為替レート <円/US\$>	期中平均	: 121.5	→	109.3	121.7	→	106.6
	期末	: 120.6	→	116.5			
<円/ユーロ>	期中平均	: 132.9	→	117.8	134.4	→	118.0
	期末	: 131.8	→	122.7			

営業外収支

億円

	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業外収益	30	62	+32	123	157	+34
受取利息及び配当金	16	15	-0	44	41	-3
持分法による投資利益	10	25	+15	43	68	+24
雑収入	5	22	+17	36	49	+13
営業外費用	▲ 38	▲ 47	-10	▲ 127	▲ 144	-18
支払利息	▲ 13	▲ 13	+1	▲ 43	▲ 36	+7
休止設備関連費用	▲ 11	▲ 10	+1	▲ 31	▲ 31	-1
雑損失	▲ 13	▲ 24	-11	▲ 53	▲ 77	-24
営業外収支	▲ 7	15	+22	▲ 4	13	+17
金融収支	2	3	+0	1	5	+5

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
特別利益	27	3	-24	36	15	-21
有形固定資産売却益	1	1	+0	4	10	+6
投資有価証券売却益	23	2	-21	28	5	-23
その他	3	-	-3	4	0	-4
特別損失	▲ 27	▲ 29	-2	▲ 64	▲ 54	+10
有形固定資産処分損	▲ 25	▲ 21	+4	▲ 44	▲ 41	+3
投資有価証券評価損	-	▲ 5	-5	▲ 18	▲ 5	+12
その他	▲ 2	▲ 3	-1	▲ 2	▲ 7	-5
ネット特別損益	0	▲ 26	-26	▲ 28	▲ 39	-11

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産

億円

	16年3月末	16年12月末	増減
資産合計	22,784	24,133	+1,350
流動資産	10,096	11,119	+1,023
有形固定資産	8,306	8,580	+274
無形固定資産	872	800	-72
投資その他	3,511	3,634	+124

	16年3月末	16年12月末	増減
負債合計	12,535	13,309	+774
流動負債	5,713	6,974	+1,260
固定負債	6,821	6,335	-486
純資産合計	10,249	10,825	+576

自己資本	9,456	10,004	+548
自己資本比率	41.5%	41.5%	-0.0 ポイント

有利子負債残高	7,043	7,666	+624
---------	-------	-------	------

D/Eレシオ	0.74	0.77	+0.02
--------	------	------	-------

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
設備投資額	875	969	+94	東レ:189、連結子会社:780
減価償却費 ー)	655	616	-39	東レ:204、連結子会社:411
振替・除却等	▲ 336	▲ 79	+256	
有形固定資産増減	▲ 115	274	+390	
研究開発費	433	427	-6	

主な設備投資:

Toray Carbon Fibers America, Inc.: 炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫設備

Toray Battery Separator Film Korea Limited: ポリエチレンフィルム“セティーラ®”設備

Toray Advanced Materials Korea Inc.: PPS樹脂“トレリナ®”設備

セグメント別売上高・営業利益

億円

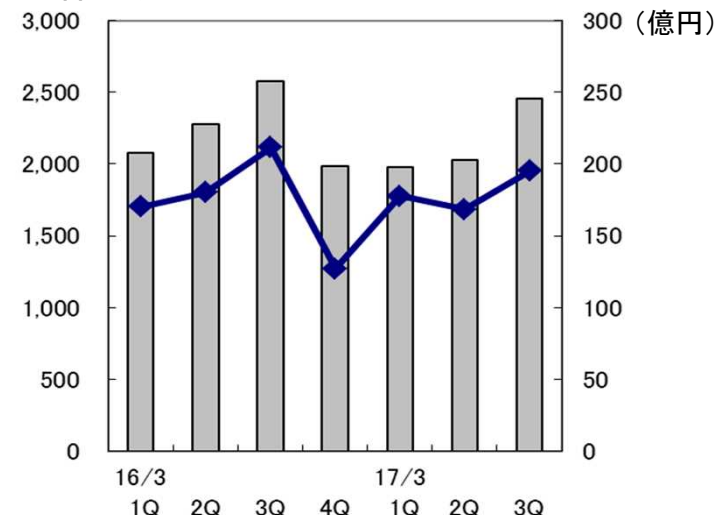
	売上高			営業利益		
	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減
繊維	2,577	2,458	-119 (-4.6%)	212	195	-16 (-7.8%)
プラスチック・ケミカル	1,282	1,251	-31 (-2.4%)	88	93	+5 (+6.1%)
情報通信材料・機器	626	626	+1 (+0.1%)	74	83	+9 (+11.6%)
炭素繊維複合材料	457	378	-79 (-17.3%)	79	46	-33 (-42.3%)
環境・エンジニアリング	396	475	+79 (+19.9%)	18	18	-0 (-0.4%)
ライセンス	145	129	-16 (-10.9%)	12	▲ 3	-14 (-)
その他	34	34	+0 (+0.4%)	5	5	-0 (-5.4%)
計	5,517	5,352	-165 (-3.0%)	487	437	-51 (-10.4%)
調整額				▲ 57	▲ 57	+0
連結	5,517	5,352	-165 (-3.0%)	430	379	-51 (-11.8%)

	売上高			営業利益		
	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
繊維	6,936	6,460	-476 (-6.9%)	562	541	-21 (-3.7%)
プラスチック・ケミカル	3,854	3,618	-236 (-6.1%)	244	252	+8 (+3.3%)
情報通信材料・機器	1,876	1,912	+37 (+2.0%)	194	242	+48 (+24.7%)
炭素繊維複合材料	1,401	1,184	-217 (-15.5%)	265	206	-59 (-22.2%)
環境・エンジニアリング	1,222	1,260	+38 (+3.1%)	34	50	+16 (+48.5%)
ライセンス	409	381	-27 (-6.7%)	18	5	-13 (-73.4%)
その他	106	106	-0 (-0.1%)	10	7	-2 (-24.8%)
計	15,803	14,922	-881 (-5.6%)	1,327	1,305	-23 (-1.7%)
調整額				▲ 146	▲ 163	-16
連結	15,803	14,922	-881 (-5.6%)	1,181	1,142	-39 (-3.3%)

セグメント別業績(繊維)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		16年 3月期	17年 3月期	増減		16年 3月期	17年 3月期	増減	
売上高	東レ	473	461	-12	(-2.6%)	1,453	1,359	-94	(-6.5%)
	国内	1,455	1,413	-42	(-2.9%)	3,536	3,375	-161	(-4.5%)
	海外	1,435	1,318	-117	(-8.1%)	4,257	3,784	-473	(-11.1%)
	修正	▲ 786	▲ 734	+52		▲ 2,310	▲ 2,058	+252	
	計	2,577	2,458	-119	(-4.6%)	6,936	6,460	-476	(-6.9%)
営業利益	東レ	48	47	-1	(-1.8%)	143	153	+10	(+7.1%)
	国内	43	42	-1	(-2.2%)	97	93	-4	(-3.9%)
	海外	112	102	-9	(-8.2%)	347	310	-36	(-10.5%)
	修正	9	3	-6		▲ 24	▲ 15	+9	
	計	212	195	-16	(-7.8%)	562	541	-21	(-3.7%)

売上高
＜棒グラフ＞



3Q (10~12月)

国内では、衣料用途・産業用途とも需要が引き続き低調に推移する中で、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善を進めることで採算の改善に注力。

海外では、衣料用途を中心に、欧州や中国などにおける最終需要低迷に加え競合激化の影響を受けたが、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。

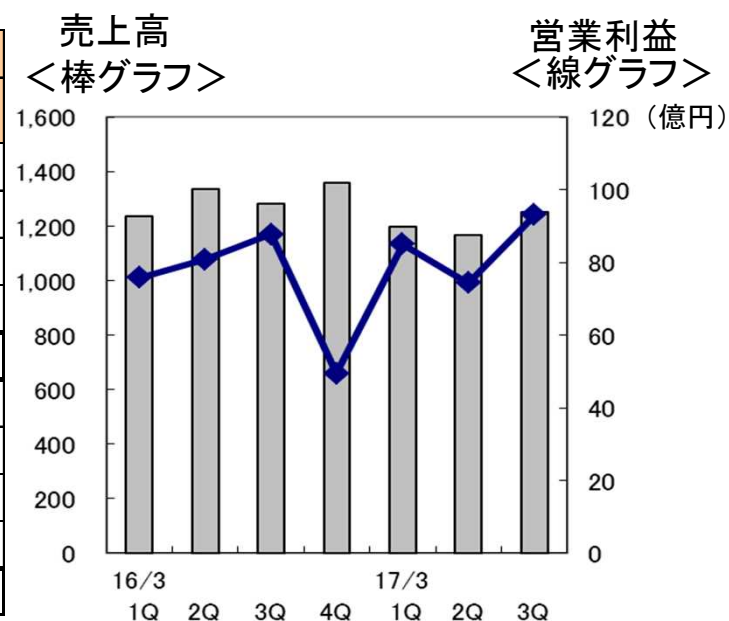
3Q累計 (4~12月)

国内では、衣料用途・産業用途とも需要が引き続き低調に推移する中で、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善を進めることで採算の改善に注力。

海外では、衣料用途を中心に、欧州や中国などにおける需要低迷の影響を受けた。一方、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。

セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		16年 3月期	17年 3月期	増減		16年 3月期	17年 3月期	増減	
売上高	東レ	297	303	+6	(+1.9%)	925	882	-42	(-4.6%)
	国内	957	929	-27	(-2.8%)	2,844	2,716	-128	(-4.5%)
	海外	845	867	+23	(+2.7%)	2,714	2,453	-262	(-9.6%)
	修正	▲ 817	▲ 849	-32		▲ 2,629	▲ 2,433	+196	
	計	1,282	1,251	-31	(-2.4%)	3,854	3,618	-236	(-6.1%)
営業利益	東レ	14	18	+4	(+30.1%)	40	40	+0	(+0.4%)
	国内	19	25	+6	(+30.0%)	56	65	+9	(+16.2%)
	海外	55	50	-5	(-9.5%)	150	148	-2	(-1.6%)
	修正	▲ 1	▲ 0	+1		▲ 2	▲ 1	+1	
	計	88	93	+5	(+6.1%)	244	252	+8	(+3.3%)



3Q (10~12月)

樹脂事業は、自動車関連用途向けの出荷が国内外とも概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂などの拡販を進めた。

フィルム事業は、国内の包装用途向けが堅調に推移。

また、多くの製品が国内外で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。

3Q累計 (4~12月)

樹脂事業は、自動車関連用途向けの出荷が国内外とも概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂などの拡販を進めた。

フィルム事業は、海外では欧米を中心に需要が低調も、国内では包装用途向けが堅調。

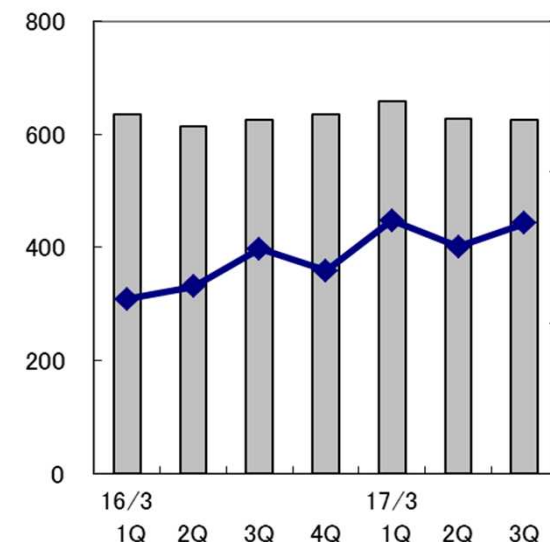
一部のケミカル製品は、円高や市況悪化の影響から販売価格が下落。

また、多くの製品が国内外で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。

セグメント別業績(情報通信材料・機器)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		16年 3月期	17年 3月期	増減		16年 3月期	17年 3月期	増減	
売上高	東レ	221	233	+12	(+5.2%)	649	677	+28	(+4.4%)
	国内	280	267	-13	(-4.8%)	764	851	+87	(+11.4%)
	海外	232	236	+4	(+1.8%)	776	700	-75	(-9.7%)
	修正	▲ 107	▲ 109	-2		▲ 313	▲ 316	-4	
	計	626	626	+1	(+0.1%)	1,876	1,912	+37	(+2.0%)
営業利益	東レ	24	34	+10	(+40.3%)	49	85	+36	(+74.8%)
	国内	38	27	-12	(-30.3%)	76	85	+10	(+12.6%)
	海外	20	31	+11	(+53.2%)	92	94	+2	(+1.8%)
	修正	▲ 8	▲ 8	-0		▲ 23	▲ 22	+0	
	計	74	83	+9	(+11.6%)	194	242	+48	(+24.7%)

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞



3Q
(10~12月)

フラットパネルディスプレイ向けでは、スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、有機EL用途向けの出荷が拡大するなど、堅調に推移。リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムは、需要の伸長を背景に、出荷が拡大。一方で、国内子会社の液晶カラーフィルター製造装置等は需要の減退を受け、低調に推移。

3Q累計
(4~12月)

フラットパネルディスプレイ向けでは、スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、有機EL用途向けの出荷が拡大するなど、堅調に推移。リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムは、需要の伸長を背景に、出荷が拡大。多くの用途で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

億円

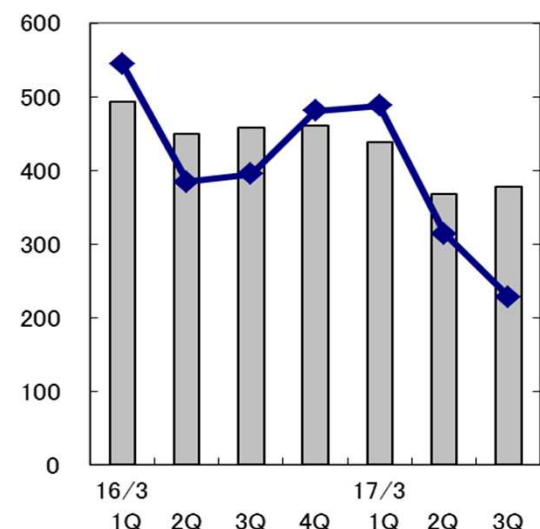
	16年3月期第3四半期 (10~12月)		17年3月期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	183	29%	185	29%	+1%
電子部品・半導体・回路材料	275	44%	306	49%	+11%
記録材料	74	12%	73	12%	-2%
機器他	94	15%	63	10%	-33%
合計	626		626		+0%

	16年3月期第3四半期累計 (4~12月)		17年3月期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	541	29%	536	28%	-1%
電子部品・半導体・回路材料	912	49%	910	48%	-0%
記録材料	230	12%	208	11%	-10%
機器他	192	10%	257	13%	+34%
合計	1,876		1,912		+2%

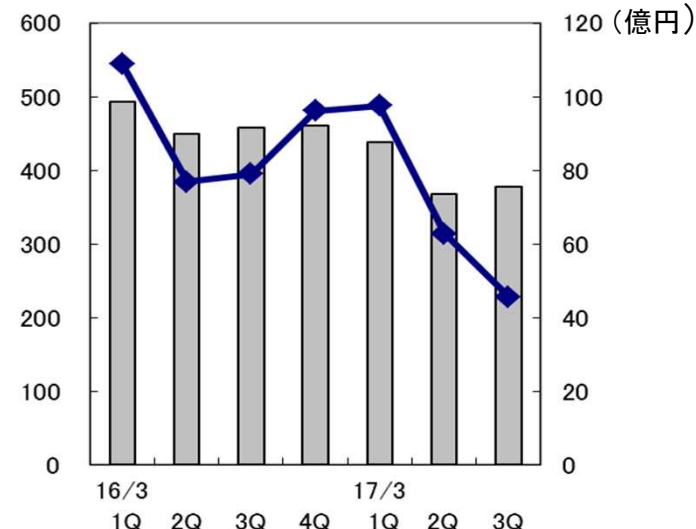
セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		16年 3月期	17年 3月期	増減		16年 3月期	17年 3月期	増減	
売上高	東レ	264	215	-49 (-18.5%)		796	741	-55 (-6.9%)	
	国内	218	138	-80 (-36.9%)		617	487	-129 (-21.0%)	
	海外	377	332	-45 (-11.9%)		1,219	1,021	-198 (-16.2%)	
	修正	▲ 402	▲ 307	+95		▲ 1,231	▲ 1,066	+165	
	計	457	378	-79 (-17.3%)		1,401	1,184	-217 (-15.5%)	
営業利益	東レ	48	21	-27 (-55.7%)		157	96	-60 (-38.5%)	
	国内	3	3	-0 (-12.8%)		8	9	+1 (+10.1%)	
	海外	37	33	-4 (-11.5%)		130	125	-5 (-3.9%)	
	修正	▲ 9	▲ 11	-2		▲ 30	▲ 24	+6	
	計	79	46	-33 (-42.3%)		265	206	-59 (-22.2%)	

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞



3Q (10~12月)

航空機の最終需要は堅調に推移したが、サプライチェーンにおける在庫調整などを反映して、炭素繊維中間加工品(プリプレグ)の需要は弱含みで推移。圧縮天然ガスタンク向けは、原油価格下落の影響を受けて、需要が低調に推移。

3Q累計 (4~12月)

航空機の最終需要は堅調に推移したが、サプライチェーンにおける在庫調整などを反映して、炭素繊維中間加工品(プリプレグ)の需要は弱含みで推移。圧縮天然ガスタンク向けは、原油価格下落の影響を受けて、需要が低調に推移。一方、風力発電翼用途は、需要の拡大を背景に出荷を拡大。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

億円

	16年3月期第3四半期 (10~12月)		17年3月期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	232	51%	173	46%	-25%
スポーツ	39	9%	35	9%	-12%
一般産業	187	41%	171	45%	-9%
合計	457		378		-17%

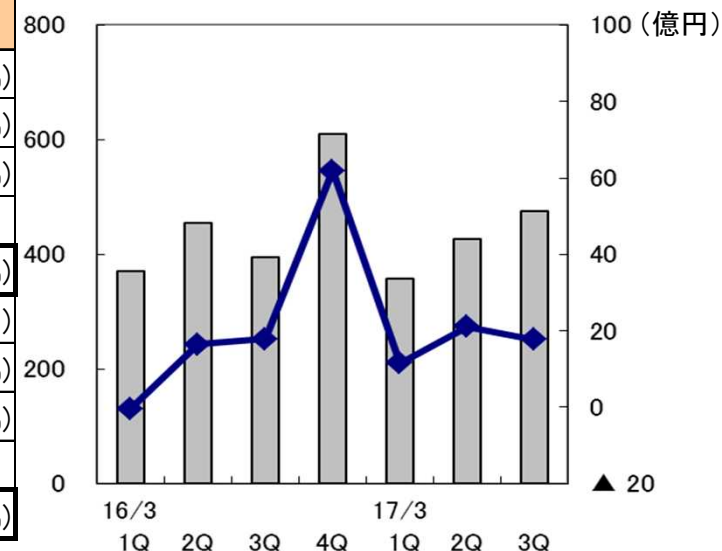
	16年3月期第3四半期累計 (4~12月)		17年3月期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	712	51%	546	46%	-23%
スポーツ	123	9%	102	9%	-17%
一般産業	566	40%	536	45%	-5%
合計	1,401		1,184		-15%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)			
		16年 3月期	17年 3月期	増減	16年 3月期	17年 3月期	増減	
売上高	東レ	48	45	-3 (-6.8%)	150	147	-3 (-2.1%)	
	国内	541	625	+85 (+15.6%)	1,452	1,593	+140 (+9.7%)	
	海外	73	68	-5 (-6.6%)	210	197	-13 (-6.2%)	
	修正	▲ 266	▲ 264	+2	▲ 590	▲ 676	-86	
	計	396	475	+79 (+19.9%)	1,222	1,260	+38 (+3.1%)	
営業利益	東レ	1	▲ 1	-2 (-)	7	▲ 1	-8 (-)	
	国内	9	11	+3 (+30.1%)	4	32	+29 (+743.5%)	
	海外	10	5	-5 (-51.7%)	27	21	-7 (-24.8%)	
	修正	▲ 1	2	+4	▲ 5	▲ 2	+3	
	計	18	18	-0 (-0.4%)	34	50	+16 (+48.5%)	

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞



**3Q
(10~12月)**

水処理事業は、逆浸透膜などの拡販を進めたが、日本からの輸出は円高進行の影響を受けた。国内子会社では、エンジニアリング子会社の産業機器やプラント工事が堅調に推移。

**3Q累計
(4~12月)**

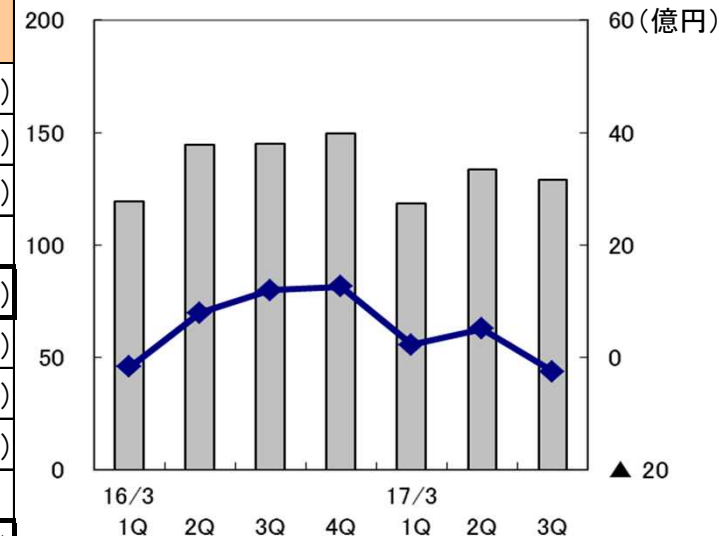
水処理事業は、逆浸透膜などの拡販を進めたが、日本からの輸出は円高進行の影響を受けた。国内子会社では、エンジニアリング子会社の産業機器やプラント工事が堅調に推移。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		16年 3月期	17年 3月期	増減		16年 3月期	17年 3月期	増減	
売上高	東レ	86	65	-21 (-24.2%)		250	215	-36 (-14.2%)	
	国内	102	102	+0 (+0.1%)		297	302	+5 (+1.6%)	
	海外	29	30	+2 (+5.2%)		91	91	+0 (+0.5%)	
	修正	▲ 72	▲ 69	+4		▲ 230	▲ 227	+3	
	計	145	129	-16 (-10.9%)		409	381	-27 (-6.7%)	
営業利益	東レ	16	▲ 4	-20 (-)		22	2	-20 (-91.9%)	
	国内	1	2	+1 (+195.2%)		4	▲ 1	-5 (-)	
	海外	▲ 1	▲ 1	-0 (-)		▲ 1	▲ 0	+1 (-)	
	修正	▲ 4	0	+5		▲ 7	4	+11	
	計	12	▲ 3	-14 (-)		18	5	-13 (-73.4%)	

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞



3Q (10~12月)

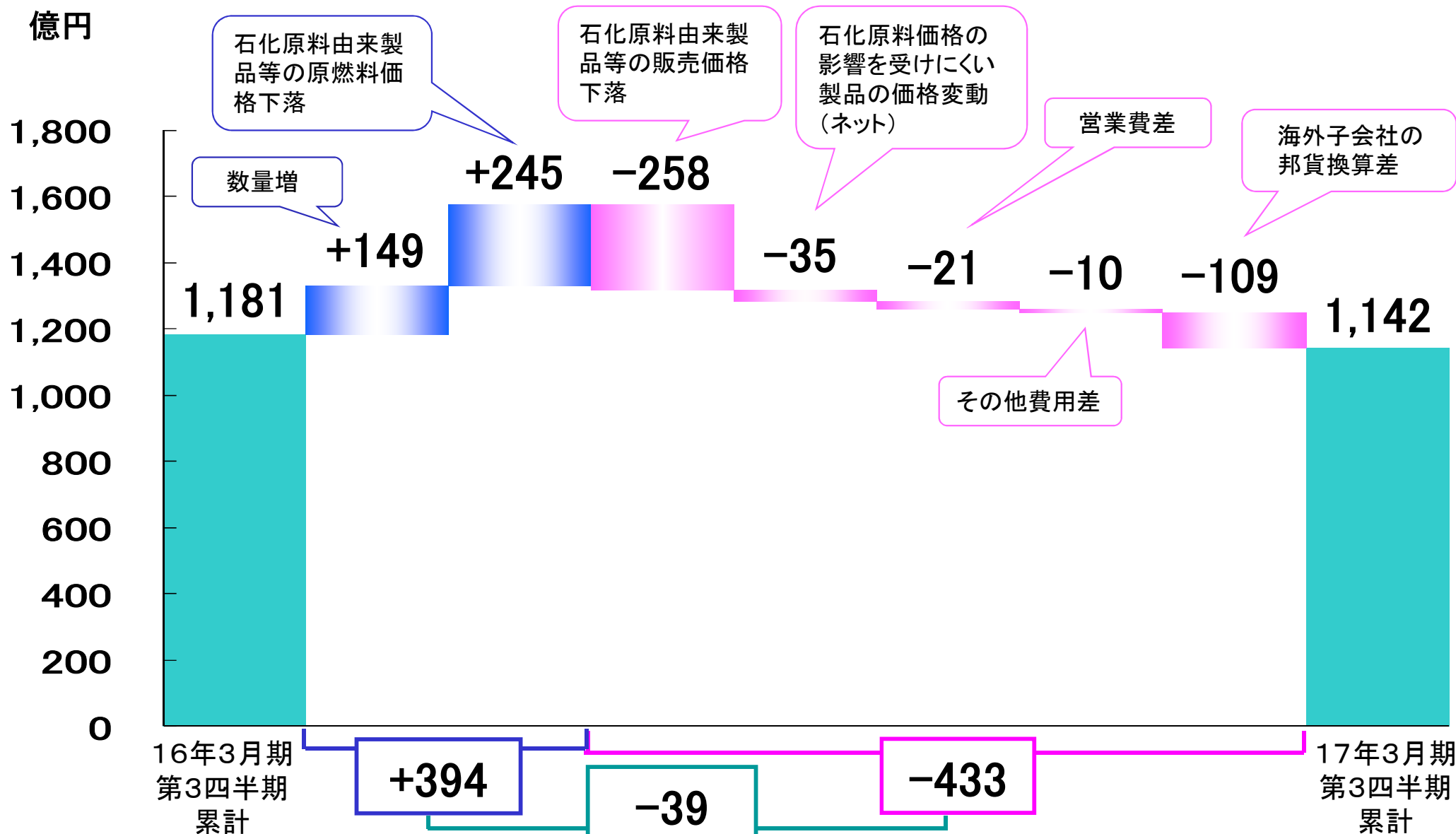
医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*が堅調に推移したものの、2016年4月の薬価改定の影響を受けた。天然型インターフェロンβ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]は代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調に推移。
医療機器事業は、ダイアライザーが国内外で堅調に推移。

3Q累計 (4~12月)

医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*が2015年に取得した効能追加承認を背景に販売数量を伸ばしたが、2016年4月の薬価改定の影響を受けた。天然型インターフェロンβ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調に推移。
医療機器事業は、ダイアライザーが国内外で堅調に推移。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)

		売上高			営業利益			億円
		16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レインターナショナル		4,599	4,329	-270	99	84	-15	
東レエンジニアリング		565	749	+184	17	42	+25	
東レ建設		301	301	+0	0	6	+5	
東レフィルム加工		319	313	-6	11	16	+5	
東レ・メディカル		297	302	+5	4	▲1	-5	
TAK(韓国)		877	804	-73	90	91	+1	
TPM(マレーシア)		511	437	-74	47	36	-11	
在東南アジア・子会社 * 1	繊維	953	857	-96	64	57	-8	
	プラスチック・ケミカル	620	541	-79	57	51	-6	
	その他	65	59	-6	8	7	-1	
	計	1,638	1,457	-181	129	115	-14	
在中国・子会社 * 2	繊維	2,210	1,879	-332	189	172	-17	
	プラスチック・ケミカル	610	575	-35	28	29	+0	
	その他	196	247	+51	4	15	+11	
	計	3,017	2,701	-316	222	216	-6	
在外・フィルム子会社 * 3	プラスチック・ケミカル	798	698	-100	54	59	+5	
	情報通信材料・機器	457	426	-31	56	52	-4	
	計	1,255	1,125	-131	110	111	+1	

* 1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM、TCTI

* 2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、TIHK、THK-G、TPCH-G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC、TFN

* 3: TAK、TCK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK、TFN

* 上記アルファベットは各社の略称、金額は単純合計

Ⅱ. 2017年3月期連結業績見通し

2017年3月期連結業績見通し

		16年3月期 実績	17年3月期 見通し	対前年同期比 増減		億円
売上高	上期	10,286	9,570	-716	(-7.0%)	
	下期	10,759	11,030	+271	(+2.5%)	
	通期	21,044	20,600	-444	(-2.1%)	
営業利益	上期	751	763	+11	(+1.5%)	
	下期	794	787	-6	(-0.8%)	
	通期	1,545	1,550	+5	(+0.3%)	
経常利益	上期	755	761	+6	(+0.8%)	
	下期	747	789	+42	(+5.7%)	
	通期	1,502	1,550	+48	(+3.2%)	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	494	534	+40	(+8.0%)	
	下期	407	416	+9	(+2.2%)	
	通期	901	950	+49	(+5.4%)	
1株当たり 当期純利益	上期	30.93円	33.40円			
	下期	25.45円	26.01円			
	通期	56.38円	59.41円			
1株当たり 配当金	上期	6.00円	7.00円			
	下期	7.00円	7.00円			
	通期	13.00円	14.00円			

為替レート的前提: 105円/US\$ (1月以降)

セグメント別業績見通し (売上高/営業利益)

億円

	16年3月期 実績			17年3月期 見通し			対前年同期比 増減			前回見通し との差異*	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期	
売上高	繊維	4,358	4,562	8,920	4,002	4,648	8,650	-357	+86	-270	+100
	プラスチック・ケミカル	2,572	2,640	5,212	2,367	2,633	5,000	-205	-8	-212	-
	情報通信材料・機器	1,250	1,261	2,511	1,286	1,314	2,600	+36	+53	+89	-
	炭素繊維複合材料	943	919	1,862	806	844	1,650	-138	-74	-212	-50
	環境・エンジニアリング	826	1,007	1,833	786	1,214	2,000	-41	+208	+167	-
	ライフサイエンス	264	295	558	252	298	550	-12	+3	-8	-50
	その他	72	75	147	72	78	150	-0	+3	+3	-
連結	10,286	10,759	21,044	9,570	11,030	20,600	-716	+271	-444	-	
営業利益	繊維	350	339	689	346	334	680	-4	-5	-9	-
	プラスチック・ケミカル	157	137	294	159	171	330	+3	+33	+36	+10
	情報通信材料・機器	120	142	262	159	171	330	+39	+29	+69	+10
	炭素繊維複合材料	186	175	361	160	120	280	-25	-56	-81	-10
	環境・エンジニアリング	16	80	96	33	77	110	+17	-2	+14	-
	ライフサイエンス	6	24	31	7	13	20	+1	-12	-11	-10
	その他	5	14	20	3	17	20	-2	+3	+0	-
	調整額	▲ 89	▲ 118	▲ 207	▲ 105	▲ 115	▲ 220	-16	+3	-13	-
連結	751	794	1,545	763	787	1,550	+11	-6	+5	-	

*前回見通しとの差異:2016年11月8日公表値との差異

セグメント別営業利益の前回見通しとの差異

セグメント	通期営業利益 前回見通し→ 今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	680→680 (±0)	・ほぼ前回見通し通り。
プラスチック ・ケミカル	320→330 (+10)	・事業環境が厳しい中、高付加価値品へのシフトとコストダウンを推進。
情報通信材料 ・機器	320→330 (+10)	・事業環境が厳しい中、高付加価値品へのシフトとコストダウンを推進。
炭素繊維 複合材料	290→280 (-10)	・航空機用途のサプライチェーンにおける在庫調整の継続を見込む。
環境 ・エンジニアリング	110→110 (±0)	・ほぼ前回見通し通り。
ライフサイエンス	30→20 (-10)	・医薬の拡販遅れを見込む。
その他	20→20 (±0)	
調整額	▲220→▲220 (±0)	
連結	1,550→1,550 (±0)	

億円

本資料中の2017年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。